

ソラと、ヒカリの思い出作り

使徒 9:15 しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

「なんか、おもしろいこと、ないかなあ」

ふたごの、ソラちゃんとヒカリちゃんは、とってもたいくつでした。

「姉さん! いい考えがあるわ。学校をかわって行くのはどう? 明日、私の学校は開校記念日で休みだから、姉さんは家で休んで、私が姉さんの学校に行くの」
「ウー、本当におもしろそう! すてきな思い出を作れそうだわ。でも、ヒカリちゃん、あなたは、だいじょうぶなの?」
「もちろん」

次の日の朝、ヒカリは、ソラ姉さんの服を着て、カバンを持ってバスに乗りました。ちょうど、バスのなかで姉さんとなかよしの友だちと会って、教室にいっしょに行きました。

「あなた、今日にかぎって、なぜそんなにおとなしいの。メガネのフレームも変わったね」
何も知らずに、なにげなく言ったなかよしの友だちのひとことに、ヒカリは、胸がドキドキとなりはじめました。
「見つけれたら、どうしよう。こんなにふるえているのに・・・」

ヒカリは、お姉さんのかわりをして、宿題を発表して、部活動と美術室のそうじまで完ぺきにしながら、一日中、ソラ姉さんになっていました。そして、幸いにも、だれも感づきませんでした。しかし、一日中、緊張したヒカリは、完全に疲れてしまったのでした。

家で休んでいた、ソラも、一日中、不安なのは同じでした。

そこで、突然「ピンポン!」とベルがなりました。ソラはドキドキする心をしずめながら、ドアをあけました。

「姉さん、私よ。心配しないで! 今日の思い出作りは大成功だったわ。」

姉さん、よかったね。私のおかげで、一日休んで、皆勤賞までもらえるじゃないの!」



ヒカリのことばに、ソラは大笑いしました。ソラが笑って、ヒカリもいっしょに大笑いしたそうです。ふたごの姉妹は、そのように得意になって笑いながら、一日中、はりつめていた心を、ぱっとゆるめたのでした。

レムナントのみなさん。この話は、実際の話です。今、ヒカリは、レムナントを生かす伝道者になって、ソラ姉さんが通っていた思い出の学校現場にまた入り、そこで伝道弟子をたてています。世界の基がおかれる前に私を伝道者として準備された神様が、小さい時、その地をあらかじめ踏むようにされたということです。素敵な思い出を作りたいですか。過去を土台にして、現在に挑戦して、未来のために新しい準備をする人には、伝道のみわざが始まります。



何を新しく準備するのでしょうか

1. 体質を準備しましょう

人々はあやまった習慣と体質のために、福音を聞いてもたおれる時が多いのです。イエス様だけがキリストであるという唯一性を味わいながら、福音の根をおろす成功者の体質を準備しましょう。

2. 考えを準備しましょう

大部分の人々が、死の危機やかん難が来れば「もう終わったんだなあ」と思います。しかし、その考えから変えなければなりません。問題は祝福のはじまりです。おそれ、偏見、誤った習慣、私の考えを捨てて、問題の後に隠された神様の計画を探してみてください。

3. うつわを準備しましょう

うつわが広いほど、神様の祝福がたくさん入ります。パウロは、かん難と困難の中でも「ローマも見なければならぬ」という契約をにぎって、世界を入れる大きいうつわとして用いられました(使徒 19:21、使徒 32:11、使徒 27:24)。レムナントのみなさんも、おさない時から伝道者のうつわを準備するレムナントになりましょう。

11月
3(月)

私は力がないのに どうしましょう

みことば 1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を
使徒 1:8 受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および
地の果てにまで、わたしの証人となります。

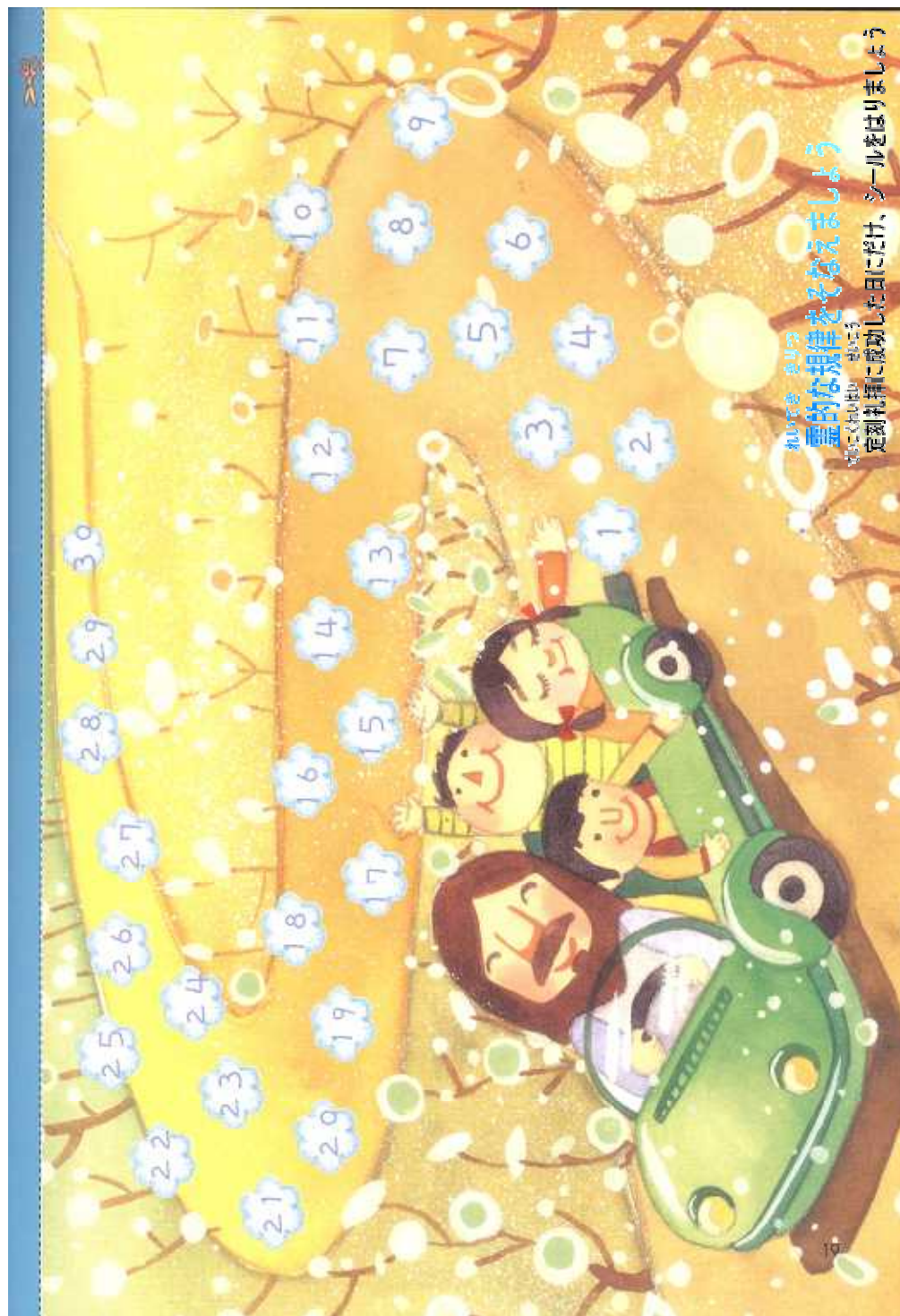
「おかあさん、私は背がひくいから、かべにかかっている時計の乾電池をかえることができないの。」子どもは、針が止まってしまった時計をかなしそうに見ていました。「おとうさんに助けてもらいなさい。」すぐに、おとうさんは、子どもを肩車して、子どもが乾電池をかえることができるように助けてくれました。時計は、チクタクとリズムをきざんで、時間になると「カンカンカン」と3時を正確に知らせてくれます。カネの音を聞いた子どもは、うれしそうに定刻の祈りをすることができました。

1. 私の力がたりないときは、どうしたらよいのでしょうか
世の中には、私の力だけでは、することができないことが多いのです。その時は、どのようにしなければならぬのでしょうか。私より力が強くて、賢い、他の人に助けてもらえばよいでしょう。それなら、何も要求されずに、いつも私を手助けできる方はどなたでしょう。ただ私を救って愛してくださる唯一な神様だけです。私の力と関係なく、神様だけ見上げましょう。

2. 黙想を通して聖霊の満たしを味わいましょう
レムナントが、神様の霊である聖霊様の導きと助けを受ければ、大きい力を受けます。それで、多くのことに勝利することができます。いつも、神様のみことばを深く考えてみましょう。私の現場に適用して、実践する「黙想」の時間を持つことが、とてもよい答えの方法なのです。1、2回で終わらずに、毎日、黙想すれば毎日、最高の聖霊の満たしを味わうことができます。

3. 私を変化させる黙想の力を育てましょう
ふだんから、朝少しだけ早く起きて<子どもの祈りの手帳>で、幸せな黙想の時間を持ってみましょう。受けたみことばをおぼえて、私の家庭、学校、教会生活の中でおきることや、問題を全部、神様にそのまま言ってみましょう(生活の中の祈り)。私も知らない間に、私の力と関係なく「なっていく答え」と「私をこえる祝福」を味わうようになります。

神様、私()は、神様があたえてくださる力で、生きていきたいです。毎日、神様と特別な出会いの時間を持つ黙想を続けることができるように、助けてください。聖霊で満たされるのを味わい、神様があたえてくださる大きな力を受けるように祝福してください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



霊的な規律をこなしましょう
定刻礼拝に成功した日にだけ、シールをはりましょう

私の生き方が主だけにとどまるように

私の生き方が主だけにとどまるように

私の生き方に主がとどまってくれることを願います
私は主を見上げると生きるのです

私の生活に主がとどまってください
私はいつも勝利します

私は主だけを見て生きていきます
私は主とともに歩みます

私の生活が主にとどまるように
私は主だけを見れば勝利します

私の心の中で、主だけを考えて生きています
私はいつも主だけを見上げて生きています

私の生活に主だけがとどまってください
私の生活が主だけを見て生きていけますように

文_メン・ウンジュ_釜山小学校5年 ハンキル長老教会



11月

4(火)

霊的な目が開いた初代教会

みことば ところで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知恵とに満ちた、使徒6:1~7 評判の良い人たち七人を選びなさい。私たちはその人たちをこの仕事に当たらせることにします。(3~4)

「あっ！」一人の子が石につまずいてこけました。でも、他の友だちは、石を足台にして、柿の実をとって食べました。同じ石でも、どのように見るかによって、つまずきになったり、足台になったりするのは、どのようにすれば、たくさんの石(壁)にたおれずに、乗りこえることができるのでしょうか。

1. 私の壁を乗り越えれば、心配しなくなります

他の人のせいにして、親をうらんだり、環境のせいではっきりしてしまう問題を解決することはできません。いっそすべて、私の問題だと告白して、本当に神様を見上げれば、一番はやく、正確に問題を解決することができます。初代教会は、まずしさと力がないという壁を、神様の恵みでこえたので、心配しないで感謝できました。

2. 環境の壁をこえればだまされません

初代教会は、いのちの危険がある環境の壁をおそれませんでした。かえって、足のきかない者を起こして、法廷ではイエス様だけがキリストであることを大胆に伝えました。また、伝道を防ぐ現場に立って答えを受けた重職者は、最初に立ち上がって、福音を伝えました。選民意識といういろいろな問題で宣教を防ぐ環境の壁の前でも、だまされないで地のはてまで宣教しました。

3. 未来の壁をこえて、その次に来る答えを見上げましょう

今、私の前に来ている問題のせいではっきりしてしまわないでください。反対に、今、受けた小さい答えに高慢になってもだめです。かならずなる祝福をこえて、その次の答えまで見てこそ、未来の壁をこえられます。神様はパウロを通して、ローマをこえて、イスパニヤに福音を伝える大きい計画を持たれたように、今でもレムナントを通して世界福音化する大きい計画を持っていらっしゃる。

選民意識: 神様が世界のすべての民の中でイスラエルの民だけを選択されたと感じる意識。同じ言葉で選民思想がある。

神様にお願いします

神様、私は小さくて弱いです。だから、だれよりも神様の恵みをもっと必要です。私と環境と未来をこえた初代教会のように、心配をすて、現実だまされないように助けてください。壁のうしろに、その次にあるもっと大きな祝福を見ることができる霊的な目を開いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

11月
5(水)

いの 答えられる祈りのモデル イエス・キリスト

みことば その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、
ヨハネ 17:1~5 あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。

「どうしたら祈りを正しくできるのでしょうか」多くのレムナントが、たずねます。「イエス様が祈られたようにしたら」いつも、このように言ってあげのですが、むずかしい友だちが、たくさんいます。イエス様は、ふだんに最善をつくしておられたのですが、重要な時ごとに、神様にお祈りされました。こゝから、イエス様のように、しあわせな祈りの答えの祝福を味わってみましょう。

1. 契約の道しるべを見て祈りましょう

まことの信仰の人々は、大きな危機に出会った時、神様に心からお祈りをしました。いくらすぐれた人でも、どうしても身動きができない追いつめられた道に出会うようになります。とにかくすればよいのだと挑戦したら、何の答えも受けられません。世界福音化と私を救われた神様の道しるべの中でレムナントが祈る時、答えてくださいます。

2. 神様の前で祈りましょう

イエス様は、危機に出会う時ごとに、神様に偉大な祈りをされました。しかし、人々は危機やむずかしい状況になれば、人に頼ります。人はみんな、弱くて、たりません。それで、頼る存在ではないのです。危機に会った時、問題が近づいた時、神様を頼りましょう。神様の前で祈ることができるレムナントになりましょう。

3. もっとも真実に祈りましょう

イエス様は、危機がきた時だけ、祈られたわけではありません。ふだんから、いつも祈りながら、答えを受けておられたので、危機の時にも答えられたのです。レムナントが、天と地のすべての権威を持って世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいますと約束された神様の前で真実に祈ったら、神様はその祈りにかならず答えてくださいます。

神様に おいのりします

福音をさとらせてくださって、新しいいのちをあたえてくださって、本当にありがとうございます。福音を持った私がかことの祈りの奥義をひとつずつ味わって、体験できるように助けてください。イエス様のように、いつもすべてのことを神様の前で心から真実に祈ることができるように、導いてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

神様であるイエス様が祈られたのですか？



かくし絵：パイナップル、ひとで、くつした、フォーク、イチヨウのはっぱ

はい。そのとおりです！イエス様は、ふだんの時にいつも祈っておられました。そして、危機の瞬間にも、「思うとおりに」されず、「神様のみこころ（計画）」を求める、偉大な祈りをされたのです。

レムナントも、イエス様のように、ふだんの時に時間を定めておいて祈っててください（定刻の祈り）。そしてどうしようもないむずかしい問題がきた時に「思うとおりに」せずに、ひざまずいて「神様のみこころ」をたずねる祈りをしてみましょう。定刻祈りを続ければ、過去のすべての問題と傷が、今の私をどのようにさせたか、未来の答えとして、なにが来るのかを見抜く目ができます。また、神様のみこころを問う祈りをすれば、神様が私に向かってどんな計画を持っておられるのかが、わかるようになります。

れきし きろく
私の歴史記録

11月
6(木)

死もおそれないステパノ

みことば こうして彼らがステパノに石を投げつけていると、ステパノは主を
使徒 7:54~60 呼んで、こう言った。「主イエスよ。私の霊をお受けください。」
そして、ひざまずいて、大声でこう叫んだ。「主よ。この罪を彼ら
に負わせないでください。」こう言って、眠りについた。(59~60)

めがねの度と目が正しく合っているなら、よく見えるように、救われたレムナントが、福音
のめがねをかけて、神様の計画を見あげる時、霊的な事実が正確に見えます。死の危機にも、
大胆に福音を伝えたステパノも、このめがねをかけていたのです。ですから、死をおそれ
ることなく、勝利することができました。

1. いのちをかけるほどの価値を発見しましょう

ステパノは、天国のまことの希望を持っていました。ステパノは、福音と神様の国と聖霊の
働きを体験しました。また、ペテロは、足のきかない者を起こした時、現場にいた証人で
した。そして、神様が初代教会に奇跡を起こされた時、主人公として用いられました。ス
テパノは、その中でいのちをかけるほどの価値を発見したのです。

2. 重要な使命を発見しましたか

チュ・キチヨル牧師は、みことば(出 20:1~6)を守る信仰を持って、死ぬ事を決意して
(一死覚悟)、神社参拝を拒否しました。ステパノもまた、おびやかして殺そうとしているユ
ダヤ人の前で、イスラエルが偶像崇拜の結果で滅びる理由を大胆に話して殉教しました。
なぜ、彼らは死をも恐れなかったのでしょうか。世界福音化の使命を発見したためです。レ
ムナントも、ステパノとチュ・キチヨル牧師のように、いのちをかけられる重要な使命を現場
で発見してみましょう。

3. 神様の注目ごとどまる所にいるべきです

ステパノの殉教で、初代教会は大きい答えを受けました。ステパノを殺す時、先頭に立っ
て迫害していたサウロが、伝道者パウロになったのです。たとえ大きい困難で、初代教会
の信徒はちりぢりに散ったとしても、彼らを通して、世界福音化をするアンテオケ教会が立
てられました。レムナントは、各自の現場でいのちをかける価値あることをさがし出さなけ
ればなりません。神様がこういうレムナントにかならず答えて、祝福してくださいませ。

神様にお願いします

神様の目が向けられているところに、私も最高の関心を持ちたいです。神様が願われる現場
にで、私のいのちをささげたいです。ステパノのように、世界福音化のビジョンを見るよう
に、私に大きな答えと祝福で働いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りし
ます。アーメン

ミュージカル
2008 Season 3

The Covenant Journey

けいやく りよてい
契約の旅



ムン・ヘオン

くずれていく文化現場にノアの
箱舟と同じ「契約の旅」が
この時代に文化の箱舟に
なることを願います。



パク・チョンミン

神様がこの作品を通して
小さいけれど、私の人生の
重要な情念を持たせて
くださいました。



キム・チャレ

私の人生のターニングポイント
「契約の旅」。主の絶対の
主権にまかせて、「キム・チャレの
旅」を期待しています。



ユン・ソンヨン

2006、2007年以後、2008年
3回目の旅が始まります。
創造主なる神様の絶対的な主権の
巨大な波の中に私をまかせます。



キム・サラ

レムナントの、レムナントの
ための、レムナントによる文化を
開発して、征服する神様の
俳優として舞台上に立ちます

公演場所：クアチョン市民文化大劇場

公演期間：2008. 12. 20~2009. 1. 18

問合せ先：02)2652-0702, 2652-0705



れきし きろく
私の歴史記録

11月

7(金)

重職者時代と伝道

みことば さて、ダマスコにアナニヤという弟子がいた。主が彼に幻の中で、使徒 9:10~15 「アナニヤよ。」と言われたので、「主よ。ここにおります。」と答えた。(10)

「おさない私が、重職者になることができるのですか」この世でだれよりも「重要な人」で、教会と現場を生かす「職分をまかされた者」で、何よりも「神様の者(子ども)」であれば、みなさんも神様が願ってられる重職者になることができます。それで、重職者とレムナントを通して、神様がかならずなされたい真の伝道があります。いったいどんなことでしょうか。

1. どのようにすれば、神様の働きを味わえるのでしょうか

3つの祝福を体験すれば、神様の働きを味わえます。最初に現場で伝道する弟子と会う祝福を体験すれば、平凡だった人生が祝福の人生に変わります。二番目に、数多くのたましいが福音を受けようと待つ黄金漁場を発見する体験をしましょう。三番目に、ただ一度の出会いを通してエチオピアの宦官に人生の答えを与えたピリポのように、ただ一度の出会いを通して神様が働かれる祝福を味わいましょう。

2. 神様の最高の関心の対象は何でしょうか

神様の最高の関心は、現場で聖書的な伝道をする弟子にあります。重職者とレムナントが、こういう祝福の対象者になれば、どんな問題にも勝利できます。パウロに会ったアナニヤと、ペテロに会った皮なめしのシモンとコルネリオ、また初代教会の数多くの弟子が、まさに神様の最高の関心の対象者でした。

3. だれが教会復興と祝福の主人公でしょうか

福音を持ったレムナントが育てて重職者になれば、日曜学校と教会の各機関と地域のあちこちに入って、教会復興と祝福の主人公になることができます。福音をのがした文化現場に、文化の宣教師になることができます。また、いろいろな分野のすぐれた専門担当者の霊的問題を解決してあげる霊的専門担当者になることができます。このことの主人公が、まさにレムナントのみなさんなのです。

神様にお願いをします。神様、福音をまず最初に、また、一番よく悟ることができるように働いてください。目標を立てて走って行くより、神様の願いと計画に方向を合わせて世界福音化をするレムナントと、未来の重職者として立てるように、導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



グッド・マンの6つの指針

グッド・マン(ボブ)の5つの指針を私に適用してみましょう

1 番目の指針
 つかれた時は再充電しなさい
 私の再充電方法を書きましよう

2 番目の指針
 家族は重荷ではなく祝福だ
 家族のための祈りの課題を書きましよう

3 番目の指針
 文句を言わずに祈ろう
 定刻祈りの時間と場所を決めましよう

4 番目の指針
 学んだことを伝えよう
 福音を伝えたい人を書きましよう

5 番目の指針
 消費せずに、投資しよう
 神様にどんな献身と奉仕をしていますか(例: 聖歌隊など)

6 番目の指針
 人生の知恵を次世代に譲ろう
 私だけのトラクトを作って福音を伝えてみましよう

私の歴史記録

グッド・マン 幸福を引き寄せる生きかた (講談社) ホプキンス (著), R. ヒルバート (著), 小川 敏子 (翻訳) (韓国語のタイトルは、「清掃夫ボブ」です)

すべてのいのちは、出会いが重要です！

使徒 13:1~4 彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい。」と言われた(2)

「ぜったいに私を離れてはいけませんって！」

土地おばあさんがいっしょうけんめいに、すがりつきました。

「うさいな！おれが一生、この場所にあたと暮らすのかい。うんざりだね。この世はとても広くて、することは多いから、残った人生まで、こんな一ヶ所で送ることはないよ」

木おじいさんが冷静に話しました。

「おれは、少しの間、この場所を離れて、広くてすてきな世の中を見てくるよ」

秋になって、木おじいさんは、土地おばあさんの反対にもかかわらず、遠く離れることにしました。

「ああ！私を離れては絶対に生きることはできないのに・・・本当に、はやく戻ってきてください」

土地おばあさんは、木おじいさんを愛していたのですが、がんこなおじいさんを見送らなければなりませんでした。

「風くん、お願いがあるから、聞いておくれ。

おれは、今日、ここから離れるから、たつ巻をおこして、土地からおれを抜いておくれ」

木おじいさんは、通り過ぎるたつ巻にお願いしました。

たつ巻は、強く息を吹きかけました。すると、木おじいさんは根っこが抜けて遠くに飛んでいきました。

いっしょうけんめい、世を得意になって歩き回った木おじいさんは、のどがかわきはじめました。

頭も痛くなつて、時間がたつほど、痛みがひどくなりそれ以上、動くことができなくなってしまいました。

「ああ、暑いなあ。太陽くんは、いつも良い友だちだったのに、今はなぜおれを苦しめるのか」

そうしたら、太陽が答えました。



「木おじいさん。私は昔も今も変わっていません。でも、木おじいさんが変わったでしょう。木おじいさんは、なぜ土地おばあさんを離れたのですか。木おじいさんは、土地おばあさんといっしょにいる時に、しあわせになるように造られたのですよ。

それが、神様の創造の原理なのです」

その時、はじめて、木おじいさんは涙を流して後悔しました。しかし、すでに木おじいさんのからだは、どんどん死んでいっているのです。

レムナントのみなさん。木は土地に根をおろす時、最高にしあわせなように、人は神様とともにいる時がしあわせなのです。これが創造の原理です。しかし、この世は神様を離れて、多くの人々が苦しみの中で生きています。神様が世々にわたって長い間、隠しておかれた福音と、救われることに定められたたましいが、伝道者であるみなさんを待っています。私たちは、すべての民族に行かなければなりません。他の文化圏、他の国でイエス・キリストを自慢することを「宣教」と言うのです。



今からすべきことがあります

1. 宣教をしようとするなら、多くの情報といろいろな文化を知らなければなりません。しかし、それより先に、神様からはなれた未信者の状態をはやく点検しなければなりません。
2. 悪霊につかれた他の団体(統一教、ニューエイジ文化)を生かさなければなりません。
3. イエス様が「わたしは世に勝ちました」とおっしゃいました。レムナントは、イエス様が与えてくださった権威を使って、サタンにつかまっているすべての人を手助けしなければなりません。(ヨハネ 8:44、使徒 10:38、コリント 4:4)
4. 全世界の重職者が契約をにぎれば、宣教が新しく始まります。